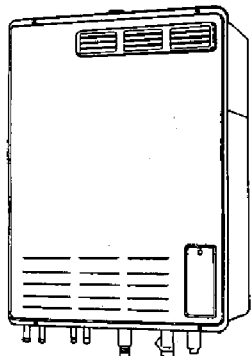


〈風呂自動機能付〉ガス瞬間式給湯暖房機

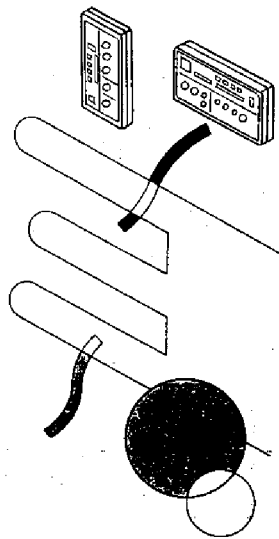
エックスプリオール・オート
PRIOR AUTO

型式名
GTH-1600AW
GTH-1600AW-T
GTH-1600AW-FF

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使い方で上手にお使いください。



品番
44-850型 (屋外設置・標準設置型)
44-851型 (扉内設置型)
44-852型 (扉内設置型・前方排気延長型)
44-854型 (扉内設置型)



目次	ページ
● 特長	1
● 各部の名称とはたらき	2
● 特に注意していただきたいこと	5
● 器具の設置	7
● 使用方法	8
● 風呂水の補給方法	13
● 凍結による破損防止について	14
● 日常の点検・手入れ	17
● 浴そつの水位・調整について	17
● 故障・異常の見分け方と処置方法	18
● 仕様	20
● 長期間使用しない場合	21
● 付属品	21



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの風呂自動機能付ガス瞬間式給湯暖房機〈エックスプリオール・オート〉をお求めいただき、ありがとうございました。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

特長

コンパクトなセットフリータイプ

コンパクトなセットフリータイプで、器具と浴室が離れていても（15m 10曲りまで）お風呂が沸かせます。

同時機能

給湯しながら同時にお風呂の追いだきまたは暖房ができます。

風呂自動機能

お風呂沸かしは、設定温度で自動的にお湯はりし、沸かしすぎの心配や、ガスのムダがありません。

保温機能

4時間の保温機能がついて、いつでも温泉気分が楽しめます。

安定出湯

高感度な電子コントロールで、ガス量をきめ細かく調節しますので、いつでも安定したお湯をご使用になれます。

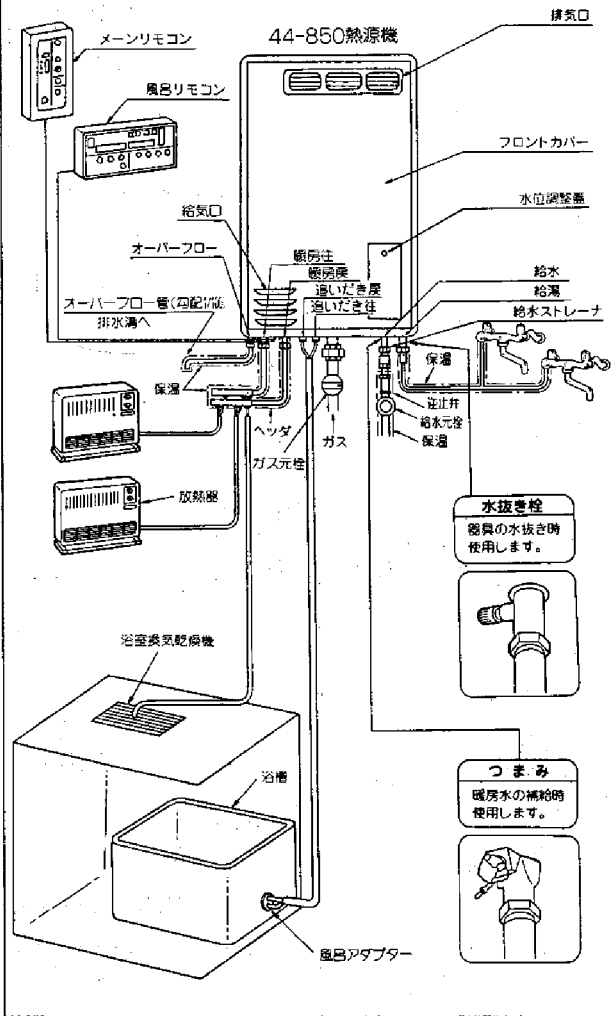
安心機能

万一、器具の故障が起きても、原因がひと目でわかるOKモニターが付いているので安心です。

各部の名称とはたらき

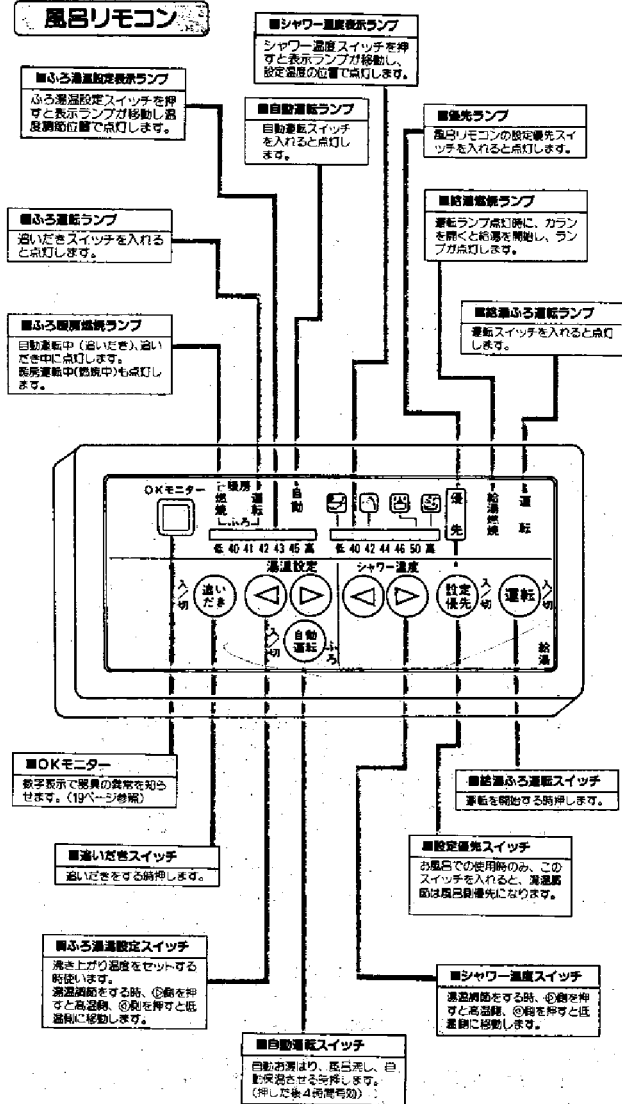
各部の名称とシステム例

●44-850型(屋外設置・標準設置型)



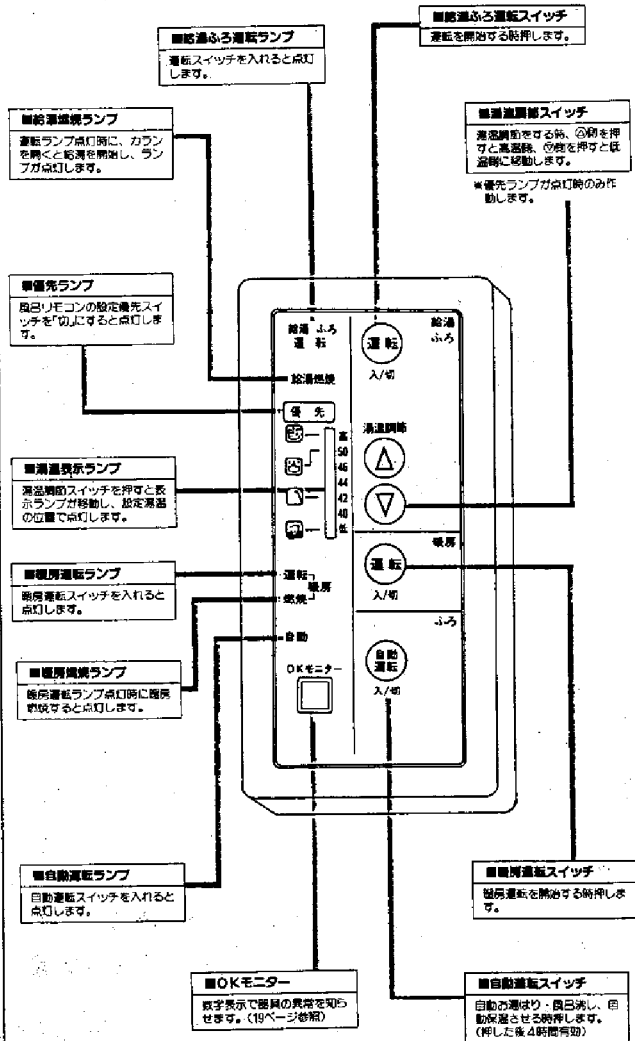
各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき

メインリモコン



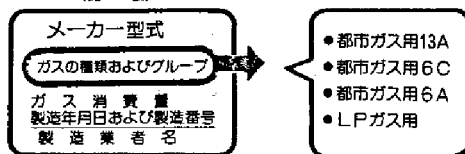
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の前面にはってある銘板(ラベル)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

(銘板)



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯、シャワー、暖房及び風呂の追いだし以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

使用場所についてのご注意

- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

使用上のご注意

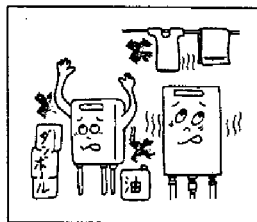
ガス漏れ予防

- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかときどき確かめてください。

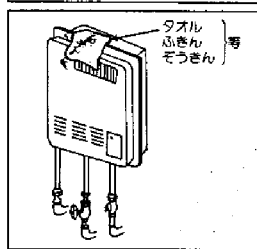
特に注意していただきたいこと

火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、洗たく物、揮発油など)を絶対に近いり近づけたりしないでください。

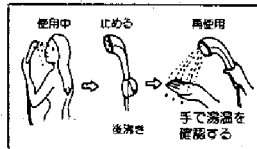
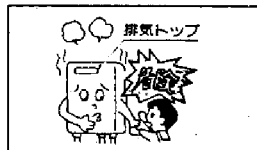


- 排気部の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。



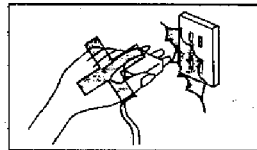
やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気トップや排気筒とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、大阪ガス社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。



特に注意していただきたいこと

凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。(詳しくは14～16ページ「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください)

凍結したとき

- ①器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障異常の見分け方と処置方法については18ページをお読みください)

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源コードが埋込まれている場合は、元のプレーカで切ってください)
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れをしてください。(詳しくは17ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずに大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫酸、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

器具の設置

(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

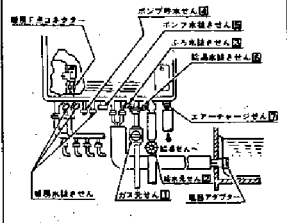
使用方法

使用前の準備と確認

■点火前の準備と確認

(給湯機)

- ①給湯水抜きせん因、エアーチャージせん因およびすべての給湯せんをしめる。
- ②給水元せん因をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認する。



(ふる側)(ポンプの呼び水の方法)

- ①ポンプ呼び水せん因を左にまわしてあけた後、ふる水抜きせん因とポンプ水抜きせん因をしめる。
- ②ガスの元せん因をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ③リモコンの自動運転スイッチを押す(自動運転ランプ、給湯燃焼ランプ点灯)、しばらくして(3分程度)、ポンプ呼び水せん因より水が出てくるのを確認する。
※この際、給湯燃焼ランプが一時点灯する場合がありますが異常ではありませんので、そのままにしておいてください。

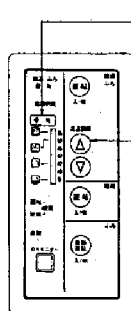
- ④ポンプ呼び水せん因をしめ、風呂アダプターより湯が出てくるのを確認する。
 - ⑤浴槽に水をはる。(自動運転のまま湯をはってもかまいません)
 - ⑥自動運転スイッチを押す(自動運転ランプ点灯)、約30分待ってから追いだしスイッチを押すと、風呂アダプターより気泡が出た後、正常循環になりふる暖房燃焼ランプが点灯する。
- 以上の操作を行ってからご使用ください。

使用方法

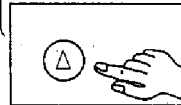
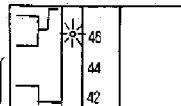
使用方法(操作のしかた) 湯温調節

湯温調節をします

〈メインリモコンで湯温調節する時〉

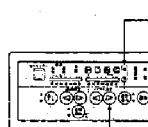


- 1 優先ランプの点灯を確認めます
- 2 湯温調節スイッチを押します
湯温調節スイッチで湯温を設定します。②を押すと高温に、③を押すと低温になります。
- 3 優先ランプが点灯しない場合
風呂リモコンの「設定優先」スイッチを押すとメインリモコンの優先ランプが点灯します。

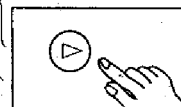
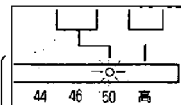


〈風呂リモコン〉

〈風呂リモコンで湯温調節する時〉



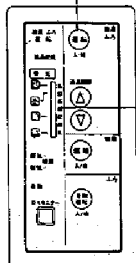
- 1 優先ランプの点灯を確認めます
- 2 シャワー温度スイッチを押します
シャワー温度スイッチで湯温を設定します。②を押すと高温に、③を押すと低温になります。



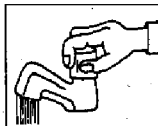
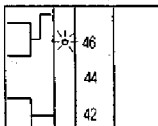
出湯温度は夏場、水温の高い場合は設定温度より高くなり、冬場水温の低い場合は設定温度より低くなる場合があります。

使用方法(操作のしかた) 給湯運転

給湯します



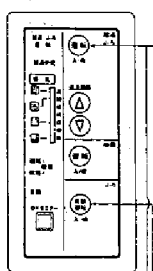
- 1 運転スイッチを「入」にします
(風呂リモコンでもかまいません)
運転ランプ、優先ランプ、OKモニター②が点灯します。
- 2 湯温表示ランプが設定した位置で点灯します
- 3 給湯せんを開ければお湯が出ます



給湯燃焼ランプ(赤色)が点灯します。
使用後、給湯せんを閉じると、給湯燃焼ランプが消えます。

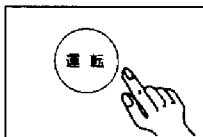
自動運転でお風呂を沸かします（保温・補水する場合）

- スイッチひとつで自動お湯はりOK そののち自動で足し湯・追いだきます。
- 本器はメイン、風呂リモコンの両方から自動運転でお風呂を沸かせます。浴槽に水をはったり、湯加減を見たりする必要はありません。リモコンの自動運転スイッチを押すだけで適温、適量のお湯をはり、沸き上げるとブザーでお知らせ。また、自動運転スイッチを押してから4時間は、お湯が減ったり、冷めたりすると自動的に足し湯・追いだきます。
- お風呂を沸かす前に、浴槽の排水せんを水漏れしないよう排水口にしっかりと差込んだあと、浴槽のふたをしてください。



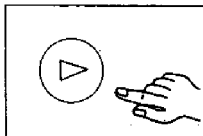
1 運転スイッチを「入」にします

（メインリモコン、風呂リモコンどちらでもOK）
運転ランプ（緑色）が点灯します。



2 風呂湯温設定スイッチ（風呂リモコン）で保温したい温度を設定します

①を押すと高温側へ、②を押すと低温側へランプが移動します。
●設定温度の目安を参考にしてお湯の上がり温度を決めてください。



3 自動運転スイッチを「入」にします

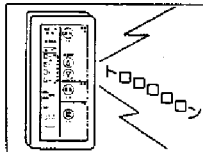
（メインリモコン、風呂リモコンどちらでもOK）
風呂リモコンの設定湯温のお湯が浴槽の循環口から設定水位まで注水され、その後、自動的に足し湯・追いだきます。



（注）燃焼ランプが自動運転中に消灯することがありますが異常ではありません。

4 設定温度になるとメインリモコンのブザーが沸き上がりを知らせます

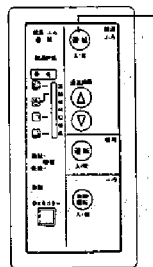
給湯中はメイン、風呂リモコンの給湯燃焼ランプとふろ房燃焼ランプが点灯しますが、保温になるとランプは消灯します。



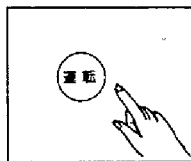
沸き上がり後、自動で保温または足し湯しない場合は、必ず自動運転スイッチを「切」にし、自動運転ランプの消灯を確認してください。

お風呂を沸かします。追いだきます。（保温しない場合）

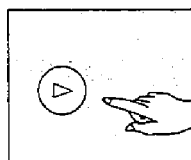
- 浴そうの風呂アダプターより10cm以上水（または湯）が入っていることを確認してから操作してください。



1 運転スイッチを「入」にします
（メインリモコン、風呂リモコンどちらでもOK）
運転ランプ、優先ランプ、OKモニターが点灯します。



2 風呂湯温設定スイッチ（風呂リモコン）で、保温したい温度を設定します
①を押すと高温側へ、②を押すと低温側へランプが移動します。



3 追いだきスイッチ（風呂リモコン）を「入」にします
ふろ房燃焼ランプ（赤色）が点灯し、追いだきが始まります。



4 設定温度になると自動的にストップします。
ふろ房燃焼ランプは消灯します。

使用方法（操作のしかた）暖房運転

※（エコスプリオール・オートシステム）は、マルチコントロールシステム（各放熱機からの運転が可能）を採用しております。

●放熱機（暖房）の取扱説明書もご覧ください。

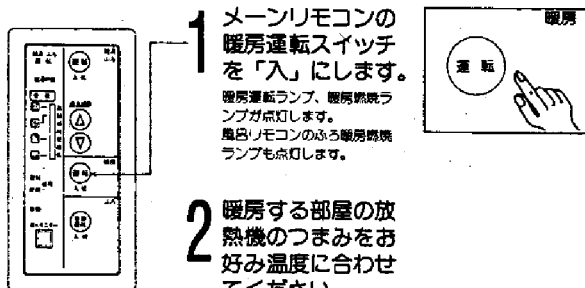
暖房します

〈マルチコントロールでお使いになる時〉

●放熱機の運転スイッチの「入」「切」で器具の暖房運転・暖房停止を行なうマルチコントロールシステムでお使いの場合は、メインリモコンの暖房運転スイッチが「切」のままでも放熱機の運転スイッチを「入」にすると器具は暖房運転になります。

この時メインリモコンの暖房運転ランプ、暖房燃焼ランプは点灯しません。

〈メインリモコンでお使いになる時〉



〈風呂リモコンのみでお使いになる時〉

●風呂リモコンのみでお使いの場合、放熱機の運転スイッチで暖房運転、停止を行なってください。

暖房運転の確認は暖房燃焼ランプの点灯で行なってください。

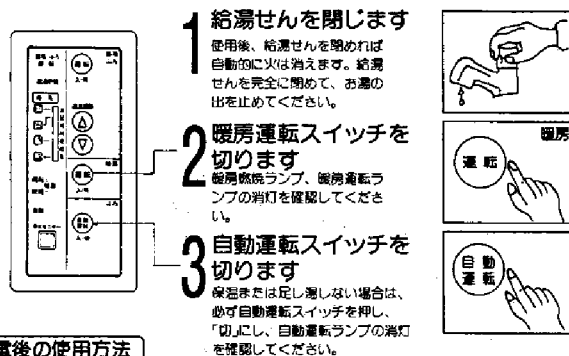
●暖房運転中に追いだきを行ないますと暖房能力が低下しますので放熱機の温風が停止する場合がありますが異常ではありません。

暖房運転ランプの点滅
OKモニター「**Ⓛ**」が点灯する

暖房運転ランプが点滅した場合やOKモニターに「**Ⓛ**」が点灯した場合は暖房水が不足しています。このままでは「暖房」「ふる」とも使用できませんので暖房水の補給をしてください。（13ページ参照）

使用方法（操作のしかた）使用後について

使用後について



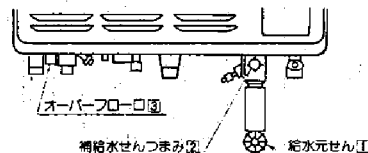
停電後の使用方法

使用を中止し、運転スイッチを「切」にしてください。通電後、各々の操作をします。

長時間使用しない場合

長時間使用しない場合は、運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんを閉めてください。

暖房水の補給方法



●風呂リモコンのOKモニターが「**Ⓛ**」を点灯している場合やメインリモコンの暖房運転ランプが点滅している場合は、暖房水が不足しています。そのままでは、暖房やふる湯かしができませんので、次の要領で暖房水を補給してください。

- ①給水元せんが開いていることを確認してください。
- ②器具下部の補給水せんつまみ(白いつまみ)を左へ一杯まわしてください。暖房水が補給されますので、しばらくお待ちください。
- ③オーバーフロー口より水がでてくれば満水ですので補給水せんつまみを右へ一杯まわしてしめてください。

凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

暖房回路の凍結予防

■不凍液による方法

- 暖房システムの凍結予防のため大阪ガス指定の不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響をおたえる場合がありますので使用しないでください。
- 不凍液の取扱いについては不凍液の取扱説明書に記載してある方法で正しくご使用ください。

■暖房ポンプの自動運転による方法

- ①すべての放熱機の暖房水回路をあけてください。
(放熱機の取扱説明書を参照してください)
 - ②気温が低くなると自動的にポンプ運転が始まり、暖房システム内の水を循環させて凍結を予防します。
- ※電源プラグが抜けている場合はポンプは運転しませんので注意してください。

■凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

- この器具には外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターと自動ポンプ運転装置を組み込んでいます。
- 器具の電源プラグが抜けているとヒーターは動きませんのでご注意ください。また浴そうの残り湯も抜かないでください。
- 外気温が極端に低い場合(-15℃以下)は凍結防止ができなくなります。



(電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。)

暖房水の補給方法・凍結による破損防止について

凍結による破損防止について

給湯・ふろ回路の凍結予防

■通水による方法

この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。ただし、浴そうへの追いだし配管には効果がありませんので、追いだし配管の露出部には保温材を巻きつけるかして十分に保温してください。

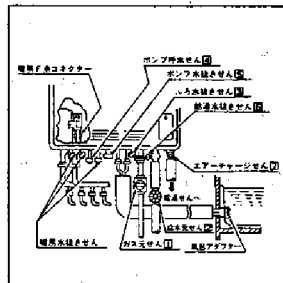
1. ガスの元せんをしめます。
2. 運転スイッチを「切」にします。
3. 給湯せんをあげ1分間に約200cc(牛乳ビン1本ぐらい)(特に寒い日は多目に)を流してください。

※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

■器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

※ふろ側から先に水抜きを行なってください。



(ふろ側)

- ①浴そうの水を排水する。
- ②(1階に浴室がある場合)
風呂リモコンの追いだしスイッチを押して(ふろ運転ランプ点灯)、風呂アダプターより水が出ることを確認する。5分程度そのままにする。
(2階に浴室がある場合)
ふろ水抜きせん③を左に回してあけた後、追いだしスイッチを押し、ふろ水抜きせん③より水が出てくることを確認する。
- ③排水の完了を確認後、運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する。
- ④ガス元せん①をしめる。
- ⑤ポンプ水抜きせん⑤、ポンプ呼び水せん④をあける。

※ふろ側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流しこまないでください。

凍結による破損防止について

〔給湯側〕

- ⑧メインリモコンの運転スイッチを「切」にする（運転ランプ消灯）。
- ⑨ガスの元せん①をしめてあるのを確認する。
- ⑩給水元せん②をしめる。
- ⑪すべての給湯せんを全開にする。
- ⑫給湯水抜きせん⑬を左に回してあげる。
- ⑬エアチャージせん⑭を左に回してあげる。
- ⑭ふろ自動運転スイッチを押し（ふろ自動運転ランプ点灯）、しばらくして（1分程度）運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。

●以上の操作で器具内の水は排水されませんので、ポンプ水抜きせん⑮と給湯水抜きせん⑯より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

●再使用する場合

※給湯側より先に行なってください。

〔給湯側〕

- ①給湯水抜きせん⑮、エアチャージせん⑭およびすべての給湯せんをしめる。
- ②給水元せん②をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認する。

〔ふろ側〕（ポンプの呼び水の方法）

- ①ポンプ呼び水せん⑰を左にまわしてあげた後、ふろ水抜きせん⑱とポンプ水抜きせん⑲をしめる。
- ②ガスの元せん①をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ③風呂リモコンのふろ自動運転スイッチを押し（ふろ自動運転ランプ、給湯燃焼ランプ点灯）、しばらくして（3分間程度）、ポンプ呼び水せん⑰より湯が出てくるのを確認する。
- ※この時、給湯燃焼ランプが一時的消灯する場合がありますが異常ではありませんので、そのままにしておいてください。
- ④ポンプの呼び水せん⑰をしめ、風呂アダプターより湯が出てくるのを確認する。
- ⑤浴槽に水を張る。（自動運転のまま湯を張ってもかまいません）
- ⑥ふろ自動運転スイッチを押し（自動運転ランプ消灯）、約30秒待つてから遠ざきスイッチを押すと、風呂アダプターより気泡が出た後、正常循環になり、ふろ暖房燃焼ランプが点灯する。
- 以上の操作を行ってからご使用ください。

※現場施工の状態により、「凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

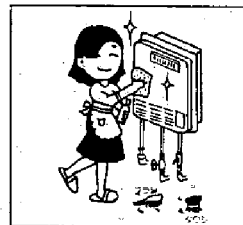
- ①器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- ②点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- ③フロントカバーなどは、外さないでください。

点検

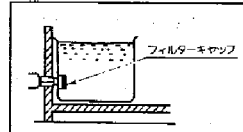
- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか？
- 排気トップ（排気口）や給気口をふさいでいませんか？

手入れ（器具は常に清潔にご使用ください）

- ①外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください）
- ②風呂アダプターのフィルター掃除
浴そう内のフィルターキャップを外し、内部のフィルターを月に1回程度掃除してください。



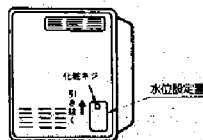
〔フィルターキャップは「上」とマークのある方を上にして取り付けてください。〕



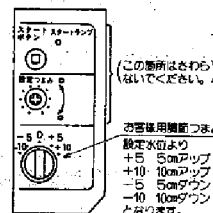
浴そうの水位調整について

浴そうの水位調整について

- ①器具の水位設定蓋をぬいてください。化粧ナジを必ず引き抜いてください。



②調節は、お客様用調節つまみにて行なってください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の見分け方を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い上げの販売店または、大阪ガスへ連絡してください。

現象	原因													処置方法	備考		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
電源プラグが抜けている	●															電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む	
停電している	●															通電再開まで使用を中止する	13
漏電している	●															器具本体の電源プラグをいったん抜いて差しなおす	
ガスの元せんが閉じていない (ボンベにガスがない)	●															ガスの元せんを全開にする (ボンベを交換する)	
ガス配管中に空気が残っている	●															運転スイッチをOKモニターが「6」の点滅が止まるまで約3秒ごとに押す	
安全装置の作動	●															19ページ参照	18
給水元せんが閉じていない		●														給水元せんを全開にする	
ガス元せんの開き不足			●													ガス元せんを全開にする	
湯温調節のミス			●	●												湯温調節をやり直す	9
給水元せんの開き不足				●												給水元せんを全開にする	
湯水元せんのつまり					●											掃除する	
給水側水フィルターのゴミつまり						●										掃除する(販売店などに依頼する)	*
給の水せん使用による水圧変動							●									同時使用はさける	
風呂管に異物が付着している								●								異物を掃除する(販売店などに依頼する)	*
排気トップのまわりに障害がある									●							障害物を取り除く	
暖房水が不足している													●			暖房水を補給する	13

次のような場合は故障ではありません。

- ①最低作動水量について
この器具は、器内の通水量が最低作動水量(2.5ℓ/分)以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いないように、ご注意ください。
- ②同時給湯について
2箇所同時にお湯を使用するとき、給湯配管の方法、給湯せんの開きかあいによって、それぞれの給湯せんのお湯の量が異なることがあります。特に湯沸器から遠い箇所、高い位置の給湯せんでは、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯せんを同時使用しますと湯量や湯温が変動しますので、ご注意ください。
- ③排気トップからの白い煙について
冬期(外気温が低いとき)には、排気ガス中の水分が水蒸気に変わるために排気トップから白い煙が出る場合があります。これは、人のはいく息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はありません。
- ④60分以上連続給湯した場合、自動的に運転を中止します。

手入れ

故障・異常の見分け方と処置方法

OKモニターについて

- OKモニター：この表示は器具が正常に運転しているかを示すものです。通常は「0」を表示しておりますが、使用上もしくは器具の故障等で異常があった場合は「0」以外の表示(点灯又は点滅)をします。

表示ナンバー	点灯/点滅	内容	対策	備考
0	点灯	通常「0」が表示されます。 (運転スイッチONで表示します)但し、配管等の異常で器具内のコントロールでわからないものがあります。	—	—
1	点灯	入水温の検知装置の不具合	—	*
2	点灯	出湯温の検知装置の不具合	—	*
3又はE	点灯	炎(燃焼)感知装置の不具合	運転スイッチをいったん「切」にし数秒まって再度「入」にして「0」になれば異常ではありません。	*
5	点滅	60分以上連続給湯した場合に点滅します。	—	—
6又はL	点滅	器具の不具合を感知して安全動作の状態になっています。	ガス元せん(ガスボンベ)が開いているか調べてください。又過熱防止装置の作動している場合があります。	—
7又はP	点滅	—	—	*
8	点灯	能力最大又は能力最小で燃焼しています。	湯があつい場合は湯温設定を高温側又は湯量を多く(カランを全開にする)またぬるい場合は湯温設定を低温側又は湯量を少なく(カランをしぼる)して「0」になれば異常ではありません。	—
9	点灯	水温の検知装置の不具合 (暖房・風呂側)	—	*
U	点滅	器具の不具合を感知して安全動作の状態になっています。	—	*
C	点灯	暖房水の不足 (暖房・風呂側)	暖房水を補給する。 (13ページ参照)	—
F	点灯	自動運転の不具合 (風呂側)	—	*

なお、*印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちに買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

仕様

機種名		ガス脱臭式給湯暖房機			
型式名	GTH-1600AW	GTH-1600AW-T	GTH-1600AW-T	GTH-1600AW-FF	
番	44-850	44-851	44-852	44-854	
給湯方式	先止め式				
暖房方式	温水循環方式				
給排気方式	屋外強制排気方式		強制給排気方式		
設置方法	屋外設置方式		屋内設置方式		
給火方式	ダイレクト着火				
外形寸法	本体	高さ750mm×幅480mm×奥行265mm			
	メーンリモコン	高さ190mm×幅96mm×奥行32mm			
	風呂リモコン	高さ96mm×幅196mm×奥行22mm			
重量	本体	56kg	56kg	56kg	
	メーンリモコン	0.3kg			
水圧	使用水圧	1kg/cm以上			
	作動水圧	0.2kg/cm			
最低作動水費	給湯	2.5ℓ/分			
	暖房	0ℓ/分以上(精切り使用可)			
ポンプ兼外連程	追いだし	7mH ₂ O以上(5ℓ/分のとき)			
	暖房	4mH ₂ O以上(8.5ℓ/分のとき)			
制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式			
	暖房	電子式ガス比例制御およびON-OFF制御方式			
適度調範	メーンリモコン	温調 低約38℃、約40℃、約42℃、約44℃、約45℃、約50℃、高約78℃			
	風呂リモコン	風呂注湯 低約38℃、約40℃、約41℃、約42℃、約43℃、約45℃、高約50℃			
	給湯・シャワー	低約38℃、約40℃、約42℃、約44℃、約46℃、約50℃、高約78℃			
	自動追いだし	低約38℃、約40℃、約41℃、約42℃、約43℃、約45℃、高約50℃			
	暖房	標準 比例制御：80℃ ON-OFF制御：OFF 87℃-ON 89℃ セーブ 比例制御：65℃ ON-OFF制御：OFF 72℃-ON 63℃			
安全装置	給湯	空だき防止装置、立消え安全装置、空だき安全装置、過圧防止安全装置、凍結防止ヒータ			
	暖房	空だき防止装置、立消え安全装置、空だき安全装置、凍結防止装置			
	共用	過圧防止安全装置、過電流防止装置、ファン回転検出装置、排気管保護装置、漏電ブレーカ			
給湯量制御方式	最大約10ℓ/分の定流量弁方式				
消費電力	最大370W				
	凍結予防運転作動時：最大210W(-10℃)				
接続	ガス	PTⅡオネジ(20A)			
	給水・給湯	PFⅡオネジ(20A)ソルダー継手付			
	暖房	PFⅡオネジ(15A)ソルダー継手付			
	追いだし	PFⅡオネジ(10A)ソルダー継手付			
	オーバーフロー	PTⅡオネジ(15A)			
電気	ガス	C31オネジ	本体電源AC100V 60Hz 3芯(うち1芯アース用) メーンリモコン6芯 風呂リモコン2芯		
	給排気接続口		排気口φ100 最大延長5m 3曲	排気口φ80 排気口φ60 最大延長7m 3曲	
附属品	メーンリモコン(一式)、風呂リモコン(一式)、ソルダー継手(一式)				
別売部品	据置台、駆動金具、記番カバー、風呂アダプター、給排気高トップ(44-854用)				
B L 品番	FT-247RFA-A		FT-247FFA-A		

仕様

仕様表

●給湯能力の()内は、水温+25℃上昇に換算した数値です。

ガスグループ	型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)		
		最大	給湯		暖房	給湯	暖房	追いだし
			最大	最小				
6A	GTH-1600AW	42,500	30,500	4,600	12,000	24,750(16.5号)	9,600	7,500
6C	GTH-1600AW-T	42,500	30,500	4,600	12,000	24,750(16.5号)	9,600	7,500
13A	GTH-1600AW-FF	42,500	30,500	4,600	12,000	24,750(16.5号)	9,600	7,500
L Pガス		3.55kg/h	2.50kg/h	0.38kg/h	1.0kg/h	24,750(16.5号)	9,600	7,500

長期間使用しない場合

- お買い上げの販売店または、大阪ガスへ連絡してください。
特に冬期は凍結による破損防止処置が必要です。必ず器具の水抜きを行なってください。
(器具の中の水を抜く方法については15~16ページをお読みください)

アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼される前に

- 18ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てお調べになり、直らないとき、あるいはご不明のときは、ご自分で修理なさらないで買い上げの販売店または、大阪ガスへ連絡してください。

連絡していただきたい内容

- 1)品名……………ガス給湯暖房機
(エックスプリオール・オート)
- 2)品番……………フロントカバー下部に
貼付してあります。
(例)
- 3)現象……………できるだけ詳しく。
- 4)通順……………できるだけ詳しく。

(4)44-850(U)

大阪ガス株式会社

44 850 01

(FT-247RFA-A)

アフターサービス

転居される場合

- ガスの種類の異なる地区へ転居される場合は、改造・調整が必要です。お買い上げの販売店または、大阪ガスへご連絡ください。
- この場合の改造・調整に要する費用は保証期間内であっても有料です。
- 使用ガスグループによっては生産していないものもありますので、改造できない場合があります。

保証書について

- この器具には保証書を添付しております。保証書は、お買い上げの販売店または、大阪ガスでお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

保証期間中は

- 保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料修理期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証期間が過ぎているときは

- お買い上げの販売店または、大阪ガスへご相談ください。修理用性能部品を調達しだうえ修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- このガス強制式給湯器房機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。補修用性能部品とは、器具の機能を維持するために必要な部品です。

定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店または、大阪ガスにご相談ください。

連絡先

- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、裏表紙へ記載してある大阪ガスへお問合わせください。

アフターサービス

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本 ガ ス ビ ル サ ー ビ ス セ ン タ ー	〒541	大阪府東区平野町5-1	☎大 阪 06(202)2221
南 支 社	〒557	大阪市西区玉出町2-0-41	☎大 阪 06(852)0001
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3-6-36	☎大 阪 06(301)1251
堺 支 社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺 0722(36)1131
北 摂 支 社	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎高 槻 0726(71)0361
阪 神 支 社	〒562	西宮市和上町4-11	☎西 宮 0798(26)3103
東 部 支 社	〒578	東大阪市鶴見2-3-17	☎河 内 0729(62)1131
京 阪 支 社	〒573	枚方市西田宮町16-17	☎枚 方 0720(41)1251
神 戸 支 社	〒650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神 戸 078(576)5231
京 都 支 社	〒604	京都市中央区烏丸御池烏丸358	☎京 都 075(231)8151
奈 良 支 社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈 良 0742(44)1111
和 歌 山 支 社	〒640	和歌山市本町1-1-1	☎和 歌 山 0734(31)2481
姫 路 支 社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎姫 路 0792(85)2221
東 播 支 社	〒675	加古川市加古川町栗津29-1	☎加 古 川 0794(21)1801
豊 岡 支 社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊 岡 07952(3)2221
湖 南 支 社	〒626	草津市追分町字荒塚680-1	☎草 津 0775(62)5311
彦 根 支 社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦 根 0749(22)3131
長 浜 管 業 所	〒528	長浜市南呉服町3-4	☎長 浜 0749(62)7171

大阪ガス株式会社